

平成25年3月期 決算について

平成25年4月25日
JFE鋼板株式会社

平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	61,210	△ 3.6	281	△ 76.5	395	-	329	165.7
24年3月期	63,516	4.3	1,198	140.6	△ 772	-	124	△ 89.5

注 連結子会社数 25年3月期 5社、24年3月期 5社

持分法適用関連会社数 25年3月期 2社、24年3月期 2社

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	54,876	△ 4.6	△ 109	-	640	-	424	-
24年3月期	57,542	5.5	701	79.3	△ 540	-	△ 32	-

【当期の概況】

当期の建材関係需要は、ベースの住宅・非住宅向けの指標が、リーマン・ショック前の平成18年度比で昨年4月の6割前後から今年2月は8割近くの水準に戻るなど、未だ低い水準ではありますものの、緩やかな回復基調を示しています。これは低金利の継続や消費税増税前といった追い風を受けてのものと思われます。また、メガソーラーの建設は太陽光発電の電力買取制度を受けて活況を呈しています。

一方で、前期にありました東日本大震災の仮設住宅向け需要は完了し、民間住宅等の本格的な復興需要が遅れている状況に加え、昨年10月まで続いた円高で安価輸入材によるマーケット影響は大きく、収益悪化要因となっています。

【当期の損益】

上記のような状況から、当期の売上高は61,210百万円(前期比△3.6%)となりました。

経常利益は、単体では赤字でしたが、子会社も含めたグループ一体となった総合販売促進策などにより子会社の収益が増加し、連結では281百万円の黒字となりました。

更に、厳しい収益状況を踏まえ、固定資産等の売却による特別利益395百万円を計上し、税引後の当期純利益は329百万円、前期比205百万円の増益となりました。

【次期の見通し】

建材関係のベース需要は上記の通り住宅向け・非住宅向けともに低迷の中で緩やかな回復基調にあり、行過ぎた円高の是正も進みつつあります。しかし、本格的な復興需要の発現時期は不透明であり、また海外経済はユーロ等の不安材料を抱えたままであることなど、経営環境は引続き厳しいものと予想されます。

こうした見通しの下で、当社は需要が拡大しつつある太陽光発電設備の架台向け鋼板の拡販や、内装材等の新用途の開拓、更にコスト削減などの収益改善努力を続け、当期以上の黒字を目指して参ります。

以上